

来月の消費予報

新型コロナウイルスが大型連休の消費意欲を直撃し、消費意欲指数は5月としての最低値

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらいなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※4月初旬に聴取(詳細はP5)

5月の消費意欲指数は42.5点。前月比-2.8ポイント、前年比-5.0ポイントと、前月比・前年比ともに2pt以上低下しました。

5月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

-2.8 ポイント

-5.0 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

5月のポイント

Point 1 : 新型コロナウイルスの影響で、外出に関わる意欲が大幅低下

5月は例年、大型連休のため消費意欲が高まる月ですが、今年は前月比-2.8ポイント・前年比-5.0ポイントと低下。5月としては調査開始以来の最低値となりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、例年多数挙がる「ゴールデンウィークがあるから買い物をしたい、出かけたい」(19年5月150件→20年5月16件)や「服が欲しい」(19年5月50件→20年5月21件)といった季節消費関連の意見が減少。一方、新型コロナウイルスに関連する、消費にネガティブな意見は前月の倍以上に増加しています(20年4月251件→20年5月560件)。特に「感染の不安や自粛のため外出・買い物できない」(20年4月111件→20年5月219件)「感染拡大の影響で意欲がわからない」(20年4月79件→20年5月127件)など、外出できないことを挙げる意見が増えています。

(※今回の調査は7都府県への緊急事態宣言(4/7)の直前の4/2～6に実施)

特に買いたいモノ・利用したいサービスの前年比をみても、「飲料(+22件)」「(家飲み)のアルコールなど」や「日用品(+16件)」「トイレットペーパー、マスクなど」はプラスとなる一方、「旅行(-88件)」「レジャー(-64件)」「外食(-52件)」「ファッション(-30件)」は大幅に減少。外出に関わる消費は大きく落ち込みそうです。

Point 2 : 影響は30代以上を中心とした幅広い層に拡大

4月の消費予報では、新型コロナウイルスの影響は、女性やファミリー層が中心でした。しかし5月は、男性・女性ともに前年から大きくマイナスとなっています(男性:前年比-4.1ポイント、女性:前年比-5.9ポイント)。また、年代別でも全層で低下しており、特に30代以上の前年比の落ち込みが30代-4.3ポイント、40代、50代はともに-6.6ポイントと顕著です(詳細 P3)。

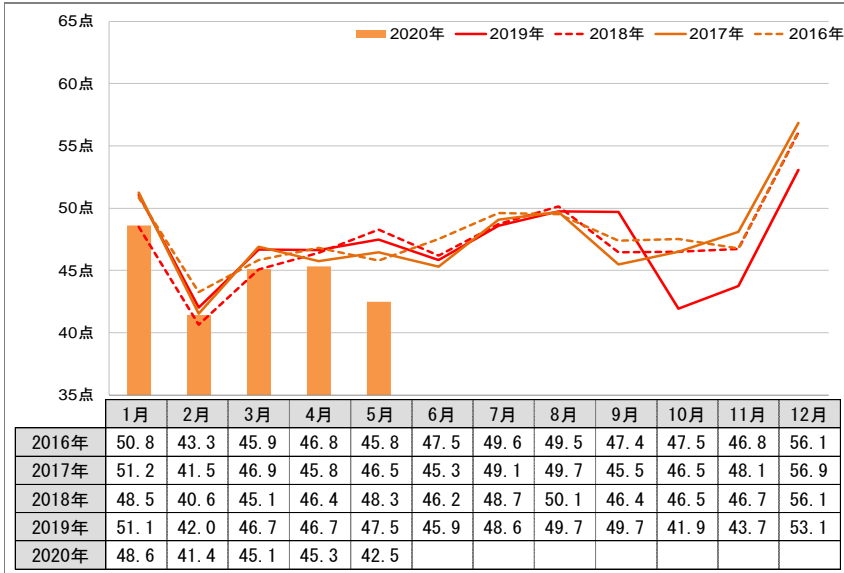
また消費意欲指数の理由(自由回答)でも、新型コロナウイルスに関連する、消費にネガティブな意見は30代以上のいずれの年代からも100件以上挙がっており、幅広い層に影響が広がっていることがうかがえます。

消費意欲指数

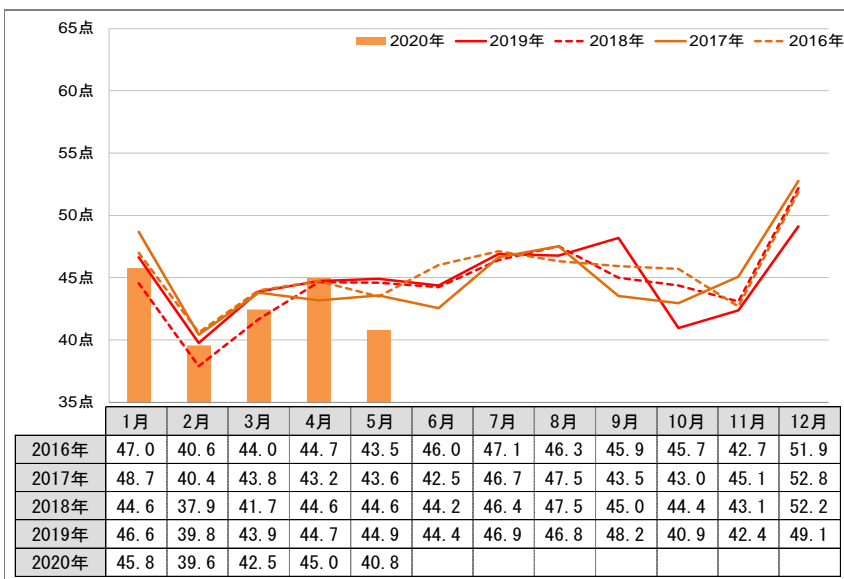
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

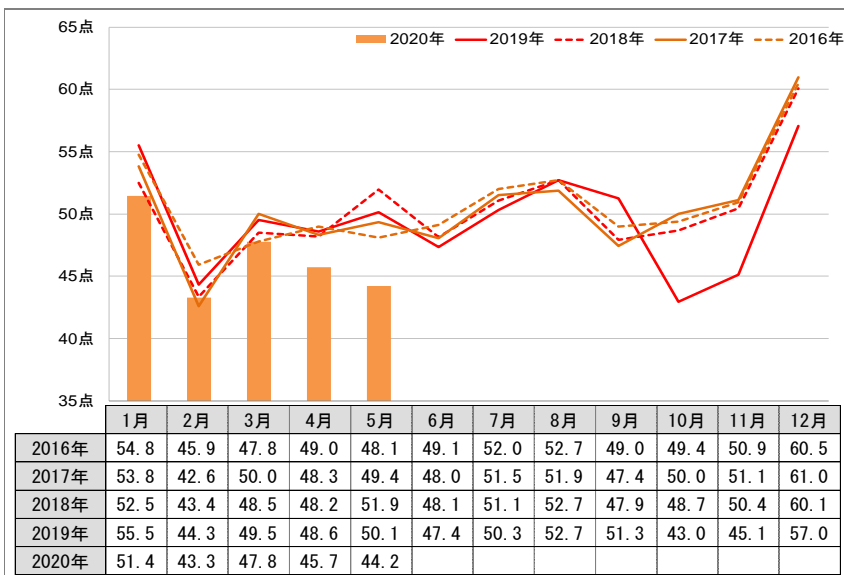
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)					20年5月比較	
	20年1月	20年2月	20年3月	20年4月	20年5月	前月比	前年比
全体	48.6	41.4	45.1	45.3	42.5	-2.8	-5.0
男性	45.8	39.6	42.5	45.0	40.8	-4.2	-4.1
女性	51.4	43.3	47.8	45.7	44.2	-1.5	-5.9
20代	49.1	43.4	46.5	47.0	46.0	-1.0	-2.4
30代	50.2	42.0	47.5	45.5	43.3	-2.2	-4.3
40代	48.7	40.8	44.7	44.9	41.3	-3.6	-6.6
50代	47.8	37.4	43.3	45.1	40.1	-5.0	-6.6
60代	47.2	44.1	43.9	44.6	43.1	-1.5	-4.0

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【新型コロナウイルス関連(消費にネガティブな意見)】>

- ・新型コロナウイルスの影響で必要な外出以外はやめているから(30点・男性28歳・兵庫県)
- ・新型コロナウイルスの影響で休日に外出することがめっきりなくなり、消費意欲が著しく低下しているから(30点・男性38歳・愛知県)
- ・4月は出費が重なるので、5月は節約したい月。ゴールデンウィークも新型コロナウイルスなどがあり、外出しない予定(30点・男性46歳・愛知県)
- ・新型コロナウイルスの影響で給料が半分になってしまうから(0点・男性55歳・東京都)
- ・気分も盛り上がらないし、新型コロナウイルスも収束するには時間がかかるだろうから、最低限の消費にとどめたい(30点・男性67歳・埼玉県)
- ・新型コロナウイルスが長引きそうなので、なるべく本当に今いるもの以外はほしくない(30点・女性29歳・大阪府)
- ・新型コロナウイルスの影響で仕事がなくなり、来月は収入がほとんどないので、必要なもの以外買わない(30点・女性39歳・大阪府)
- ・日常生活における必要最低限の外出しかできず、通常楽しみにしている遊びや外食ができないから(10点・女性45歳・神奈川県)
- ・外出ができない状況なので、衣服や美容に使う気持ちが薄れているから(30点・女性54歳・岐阜県)
- ・例年ならば気候も良くなりほとんど100点に近いくらいになるものの、今年は新型コロナウイルスのせいで意欲がわからない(30点・女性69歳・東京都)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(3月5日～9日)後より今回調査(4月2日～6日)まで

- 3月12日 WHOによるパンデミック認定
- 3月14日 新型インフルエンザ等対策特別措置法(新型コロナウイルス特措法)施行
- 3月24日 東京2020オリンピック・パラリンピック延期決定
- 4月6日 夕方、緊急事態宣言が7日に出るとの報道(7都府県)

補足資料③

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年5月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	22.5	-0.7	-3.6
男性	23.7	+0.1	-0.4
女性	21.2	-1.6	-6.9

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(337人)

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	156	-37	-30
2	食品	153	+11	+6
3	外食	131	+6	-52
4	飲料	123	+4	+22
5	書籍・エンタメ	111	+16	+1
6	旅行	100	-18	-88
7	日用品	86	+14	+16
8	家電・AV	80	-15	-17
9	化粧品	78	-21	+1
10	理美容	70	-18	-5
11	レジャー	67	-28	-64
12	パソコン・タブレット・周辺機器	56	+2	+11
13	装飾品	50	-20	+9
14	インテリア用品	45	-8	-15
15	スマートフォン・携帯電話	43	-9	-2
16	車・バイク	36	+7	-2

参考:男性(179人)

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	71	+7	+7
2	外食	64	+7	-13
3	飲料	63	+6	+15
3	書籍・エンタメ	63	+2	+8
5	ファッション	58	-29	-5
6	旅行	54	-9	-38
7	家電・AV	51	-8	+4
8	パソコン・タブレット・周辺機器	43	+4	+11
9	日用品	38	+15	+16
10	レジャー	34	-8	-18
11	車・バイク	28	+4	-3
12	装飾品	25	-13	+10
13	スマートフォン・携帯電話	21	-9	-1
14	理美容	19	-4	+2
15	インテリア用品	17	-3	-4
16	化粧品	9	-10	-1

参考:女性(158人)

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	98	-8	-25
2	食品	82	+4	-1
3	化粧品	69	-11	+2
4	外食	67	-1	-39
5	飲料	60	-2	+7
6	理美容	51	-14	-7
7	日用品	48	-1	±0
7	書籍・エンタメ	48	+14	-7
9	旅行	46	-9	-50
10	レジャー	33	-20	-46
11	家電・AV	29	-7	-21
12	インテリア用品	28	-5	-11
13	装飾品	25	-7	-1
14	スマートフォン・携帯電話	22	±0	-1
15	パソコン・タブレット・周辺機器	13	-2	±0
16	車・バイク	8	+3	+1

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2020年4月2日(木)～6日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、4/20付で「第1回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年4月)」を発表いたしました(<https://seikatsusoken.jp/wp/wp-content/uploads/2020/04/corona-release04.pdf>)。こちらは毎月第3週頃に発表する予定です。併せてご利用ください。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(大野) koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-05/>)からダウンロードしていただけます